

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 3, 火 / Tue 4
開講期間 / Course duration	2020/04/01 ~ 2020/06/03		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20202050670001	科目番号 / Course code	20506700
科目ナンバリングコード / Numbering code	HEMC10021850		
授業科目名 / Course title	障害とインクルージョン / Disability and inclusion		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	田中 悟郎 / Tanaka Gorou, 沖田 実 / Okita Minoru, 神津 玲 / Kozy Ryo, 徳永 瑛子 / Tokunaga Akiko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	田中 悟郎 / Tanaka Gorou		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	田中 悟郎 / Tanaka Gorou, 沖田 実 / Okita Minoru, 神津 玲 / Kozy Ryo, 徳永 瑛子 / Tokunaga Akiko		
科目分類 / Course Category	学部モジュール科目, 学部モジュール科目		
対象年次 / Intended year	1	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	[保]101講義室		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	1年		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	goro@nagasaki-u.ac.jp, ryokozy@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Office	保健学科5階・3階		
担当教員TEL / Tel	田中 (819-7995)、神津 (819-7963)		
担当教員オフィスアワー / Office hours	田中 : 17:00-18:00 神津 : 月曜日17:00-18:00		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	人間を身体的・心理的・社会的から理解を深め、保健医療従事者になる者として必要な基本的な事項を学習する。 モジュールでは人間の発達や健康問題、障害を日常生活や社会生活と関連して概論的に学習する。 「障害とインクルージョン」では、社会的に不利な状況にある障害者や高齢者、子ども、病気を持った人も含めてみんなが共に暮らしていける社会とは何かについて学ぶ。		
授業到達目標 / Course goals	みんなが共に暮らしていける社会づくりについて説明できる。(DP-1) 理学療法、作業療法の意義と目的について説明できる。(DP-1)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	授業後に出される課題に関するレポート (30%)、授業やグループへの貢献 (20%)、テーについてのプレゼンテーション (50%) で評価する。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	事前学習 : 講義に関連した文献やその他の情報に目を通しておくこと。(0.5h) 事後学習 : 講義資料等を再読し、理解を確実にするよう努めること。(0.5h)		
キーワード / Keywords	障害 インクルージョン 理学療法 作業療法		
教科書・教材・参考書 / Materials	配布資料		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」(障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	前の講義で課題を提示する。その課題について事前調査をして講義に臨むこと。講義では、自分の意見が述べられるように準備すること。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション
第2回	障害をもつ人の生活
第3回	障害について理解する
第4回	障害者の福祉とその理念
第5回	障害の医療：リハビリテーションとその考え方
第6回	リハビリテーション医療における理学療法の役割と実際
第7回	リハビリテーション医療の対象となる身体障害 1
第8回	リハビリテーション医療の対象となる身体障害 2
第9回	人間の尊厳と終末期におけるリハビリテーション
第10回	精神障害を持つ人への生活支援 1
第11回	精神障害を持つ人への生活支援 2
第12回	精神障害を持つ人への生活支援 3
第13回	発達障害を持つ人への生活支援 1
第14回	発達障害を持つ人への生活支援 2
第15回	発達障害を持つ人への生活支援 3

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 5
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2021/03/31		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20202050671001	科目番号 / Course code	20506710
科目ナンバリングコード / Numbering code	HEMC10521850		
授業科目名 / Course title	健康と運動 / Health and Exercise		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	坂本 淳哉 / Sakamoto Jiyunya, 浜崎 美和 / Miwa Hamasaki, 辻 麻由美 / Mayumi Tsuji		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	坂本 淳哉 / Sakamoto Jiyunya		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	坂本 淳哉 / Sakamoto Jiyunya, 浜崎 美和 / Miwa Hamasaki, 辻 麻由美 / Mayumi Tsuji		
科目分類 / Course Category	学部モジュール科目		
対象年次 / Intended year	1	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育G棟38 / RoomG-38		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医学部(保)・1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	jun-saka@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	保健学科3F		
担当教員TEL/Tel	095-819-7964		
担当教員オフィスアワー/Office hours	随時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	運動不足 (Physical inactivity) は運動能力や筋力・骨密度の低下だけでなく、呼吸・循環・代謝・免疫機能などの低下をきたし、生活習慣病、生活不活発病などの原因となる。また、抑うつ、認知症の進行など心身の機能低下をまねき、生活の質が低下する。健康に生きるための運動の意義と実践方法について学ぶ。		
授業到達目標/Course goals	<ol style="list-style-type: none"> 1. 人間の健康に対する運動の意義を理解する (DP-3・4)。 2. 運動不足がもたらす健康障害を知る (DP-3・4)。 3. 医療支援について考える (DP-4・5)。 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	<ol style="list-style-type: none"> A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動
 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される
 It consists only of lectures from teachers 		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	レポートおよび授業に臨む態度、グループワーク・討論・プレゼンテーションでの積極性、発表内容などを総合判定する。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	予習: 各授業内容に関連する図書・文献に目を通しておく (0.5h) 復習: 授業内容について整理し、疑問点については図書などを利用して調べる (0.5h)		
キーワード / Keywords	運動、生活習慣、健康		
教科書・教材・参考書 / Materials	随時、資料を配付する		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites	特になし		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」(障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-mail) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students			

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	坂本淳哉/一般病院での理学療法士としての臨床経験ならびに理学療法学専攻教員としての経験等に 基づいて指導する。 浜崎美和・辻麻由美/一般病院での看護師としての臨床経験ならびに理学療法学専攻教員としての経 験等に基づいて指導する。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 (9/28)	オリエンテーション、運動と身体 (坂本)
第2回 (10/5)	生活習慣病と健康 (浜崎)
第3回 (10/12)	虚弱と運動 (坂本)
第4回 (10/19)	健康と食生活 (辻)
第5回 (10/26)	栄養と運動
第6回 (11/2)	運動とこころの健康
第7回 (11/9)	グループワーク1 (坂本、辻、浜崎)
第8回 (11/16)	グループワーク2 (坂本、辻、浜崎)
第9回 (11/30)	グループワーク3 (坂本、辻、浜崎)
第10回 (12/7)	グループワーク4 (坂本、辻、浜崎)
第11回 (12/14)	グループワーク5 (坂本、辻、浜崎)
第12回 (12/21)	グループワーク6 (坂本、辻、浜崎)
第13回 (1/11)	グループワーク7 (坂本、辻、浜崎)
第14回 (1/25)	発表 1 (坂本、辻、浜崎)
第15回 (2/1)	発表 2 (坂本、辻、浜崎)

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 1, 金 / Fri 2
開講期間 / Course duration	2020/06/04 ~ 2020/09/27		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20202050672001	科目番号 / Course code	20506720
科目ナンバリングコード / Numbering code	HEMC10031850		
授業科目名 / Course title	健康を支える家族と社会 / Health, Family and Society		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	平野 裕子 / Yuko Ohara-HIRANO, 本田 純久 / Honda Sumihisa, 大山 祐介, 大町 いづみ / Oomati Idumi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	平野 裕子 / Yuko Ohara-HIRANO		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	平野 裕子 / Yuko Ohara-HIRANO, 本田 純久 / Honda Sumihisa, 大山 祐介, 大町 いづみ / Oomati Idumi		
科目分類 / Course Category	学部モジュール科目, 学部モジュール科目		
対象年次 / Intended year	1	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育G棟38 / RoomG-38		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	保健学科1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	hirano@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	保健学科研究棟4階		
担当教員TEL/Tel	095-819-7940		
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前にメールでアポイントメントを取ってください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	保健・医療・福祉領域における今日の家族および地域社会のありかたについて、定義、機能、健康 問題との関連性、今後の課題などを、現在、保健・医療・福祉領域において活動するゲストスピー カーによる話題を分析・考察することを通し、理論的および実践的に学ぶ。		
授業到達目標/Course goals	本講義では受講者が、地域で自立した生活を営む患者や住民を支援するために、対象となる人々を 身体的・心理的・社会的視観点から評価、支援するための理論や技術を習得する (DP-3)。また医療 と社会の関係について主体的に考える能力を涵養する (DP-5)。これらをめざすため、受講者は本講 義終了時には、健康・病気と、それらをめぐる家族および社会のありかたについて、実践例を踏ま え、論理的に説明することができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけ て欲しい力 (1つ以上3つまで) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	90%課題学習の発表・レポート、10%授業への積極的な取り組み状況。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	予習: 各授業内容に沿って、あらかじめインターネット、新聞報道などで情報を集めておくこと (2h) 復習: 授業で行ったこと、配布資料等を踏まえ、ノートをまとめなおしておくこと (2h)		
キーワード/Keywords	健康、家族、社会、ソーシャル・キャピタル		
教科書・教材・参考書/Materials	適宜指示する。		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	単位取得を希望する者は、自己責任にて、期限内に授業の登録を行うこと。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいる。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) に相談すること。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		

備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	レポートの課題は計4本課される。これらは成績評価の90%を占めるため、一つでもレポートを提出するのを怠ると、単位取得は難しくなるので、了承の上受講すること。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	6月5日(1校時) : イントロダクション : 健康・家族・社会の関係(1) (平野)
第2回	6月5日(2校時) : 健康・家族・社会の関係(2) (平野)
第3回	6月12日(1校時) : 高齢者の社会的孤立(本田)
第4回	6月12日(2校時) : 高齢者を支える地域のつながり(本田)
第5回	6月19日(1校時) : ソーシャル・キャピタルと健康(本田)
第6回	6月19日(2校時) : 健康・家族・社会の関係(3) (平野)
第7回	6月26日(1校時) : ソーシャル・キャピタルと健康 : 鶴の尾町の事例(平野)
第8回	6月26日(2校時) : 鶴の尾団地「助っ人隊」の活動について(ゲストスピーカー)
第9回	7月3日(1校時) : 退院支援 病院から地域へ(大山)
第10回	7月3日(2校時) : 健康と家族・事例検討(1) (大町)
第11回	7月10日(1校時) : 健康と家族・事例検討(2) (大町)
第12回	7月10日(1校時) : 健康と家族・事例検討(3) (大町)
第13回	7月17日(1校時) : 健康・家族・社会の関係(4) (平野)
第14回	7月17日(2校時) : 地域で生活する患者を支援する(ゲストスピーカー)
第15回	7月31日 : まとめ(平野)

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 5
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2021/03/31		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20202050673001	科目番号 / Course code	20506730
科目ナンバリングコード / Numbering code	HEMC10531850		
授業科目名 / Course title	暮らしと環境 / Community living and environment		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	石松 祐二 / Ishimatsu Yuji, 大石 和代 / Ooishi Kazuyo, 岩永 竜一郎 / Iwanaga Riyoutirou, 横尾 誠一 / Yokoo Seiiti, 田中 貴子 / Tanaka Takako, 田中 準一 / Junichi TANAKA, キット彩乃 / Kitsuto Ayano		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	石松 祐二 / Ishimatsu Yuji		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	石松 祐二 / Ishimatsu Yuji, 大石 和代 / Ooishi Kazuyo, 岩永 竜一郎 / Iwanaga Riyoutirou, 横尾 誠一 / Yokoo Seiiti, 田中 貴子 / Tanaka Takako, 田中 準一 / Junichi TANAKA, キット彩乃 / Kitsuto Ayano		
科目分類 / Course Category	学部モジュール科目		
対象年次 / Intended year	1	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育G棟38 / RoomG-38		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	1年次 (学部モジュール)		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	yuji-i@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Office	保健学科 4 F		
担当教員TEL / Tel	819-7941		
担当教員オフィスアワー / Office hours	メールで担当教員にアポイントを取ってください。保健学科以外の教員に関する場合は、石松までメールをして下さい。		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	「日々の暮らし」や「暮らしを取り巻く環境」と健康の関わり合いを、様々な観点から捉え、現在の状況や抱えている問題点・課題などを学んでいく。		
授業到達目標 / Course goals	1. 人々の暮らしや地域社会には様々な形態があり、生活を営む立場によつての多様性を知ることができる。(DP-3) 2. 暮らしや生活環境に影響を及ぼす要因や医療の問題点を述べることができる。(DP-5) 3. 療養を必要とする人々の暮らしと居住環境について地域特性や年齢による違いを考えることができる。(DP-3, 5)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	授業に対する積極的な取り組み (10%)、レポート (45%予定)、小テスト (45%予定) (この科目は、オムニバス形式で実施されますので、担当の先生が実施した「レポート」あるいは「小テスト」の実施した比率から算出して、科目の最終評価を行います。) <合格基準> 長崎大学成績評価ガイドラインにそつて総合的に評価し、C判定以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	事前学習: 翌週の授業のテーマに沿った内容を、文献などで調べておくこと (2h) 事後学習: その週に学んだ内容を整理し、文献などで調べて復習し理解を深めること (2h)		
キーワード / Keywords	暮らし (生活) 環境 喫煙 社会的不利 生活習慣病 妊婦 地域住民 在宅 微生物		
教科書・教材・参考書 / Materials	配付資料およびLACS資料		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites	特になし。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	1．講義・演習の資料、教材、動画等を自己学習以外の目的で使用する場合は、必ず、担当教員の許可を得ること。資料、教材、動画等には講義演習で使用した資料、物品等を個人用カメラで撮影したものも含む。 2．SNSに講義や演習に関連した以下の内容を投稿した場合は、投稿に関与した学生全員について、定期試験受験資格なしとするなどの対応をとることがある。 人の尊厳を傷つける内容、個人情報と捉えられる内容、プライバシーの侵害にあたる内容、職業意識を脅かす内容、社会的信用の損失につながる内容など
学生へのメッセージ/Message for students	色々な立場の人間の暮らしや生活環境を知ることが、将来医療に携わる人間として成長できることにとって重要です。積極的にテーマに沿った勉強を自主的に取り組んで下さい。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	河野哲也/長崎大学病院喫煙問題対策センターで禁煙治療や喫煙問題に対する活動を行っている/喫煙問題に関する教育等 尾長谷靖/呼吸器専門医として診療、研究を実施/P M2.5と気管支喘息などとの関係について等 浦松 正/腎臓専門医、透析専門医として診療、研究を実施/生活習慣病と腎臓病の関連性について等 石松祐二/呼吸器専門医、内科専門医として診療、研究を実施/生活習慣病全般について等
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンスおよびSNS時代の医療情報管理（石松 祐二）（予定）
第2回	「喫煙による健康問題（1）」（河野 哲也 [呼吸器内科]）（予定）
第3回	「喫煙による健康問題（2）」（河野 哲也 [呼吸器内科]）（予定）
第4回	「社会的不利条件と人々の暮らし（1）」（田中 準一）（予定）
第5回	「社会的不利条件と人々の暮らし（2）」（田中 準一）（予定）
第6回	「PM2.5と健康」（尾長谷 靖 [呼吸器内科]）（予定）
第7回	「暮らしと生活習慣病（1）」（浦松 正 [腎臓内科]）（予定）
第8回	「妊婦の健康と環境（1）」（大石 和代）（予定）
第9回	「妊婦の健康と環境（2）」（大石 和代）（予定）
第10回	「暮らしと生活習慣病（2）」（石松 祐二）（予定）
第11回	「地域住民の健康と環境（1）」（キット 彩乃）（予定）
第12回	「地域住民の健康と環境（2）」（キット 彩乃）（予定）
第13回	「在宅で療養する人々における環境（1）」（横尾 誠一）（予定）
第14回	「在宅で療養する人々における環境（2）」（横尾 誠一）（予定）
第15回	まとめ（石松 祐二）（予定）

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 1
開講期間 / Course duration	2020/04/01 ~ 2020/09/27		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0 / /
時間割コード / Time schedule code	20202050677001	科目番号 / Course code	20506770
科目ナンバリングコード / Numbering code	HEMC 10551_850		
授業科目名 / Course title	認知症・高齢者を考える		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	佐藤 克也 / Satou Katuya, 吉田 浩二 / Yoshida Koji, 井口 茂 / Inokuti Shigeru		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	佐藤 克也 / Satou Katuya		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	佐藤 克也 / Satou Katuya, 吉田 浩二 / Yoshida Koji, 井口 茂 / Inokuti Shigeru		
科目分類 / Course Category	学部モジュール科目		
対象年次 / Intended year	2	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room			
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2年生。特にないが、モジュールの再履修者を中心に開講する。		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	satoh-prion@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Office	保健学科5階		
担当教員TEL / Tel	(直通)095-819-7991 (内線7991)		
担当教員オフィスアワー / Office hours	随時(訪室前に電話連絡)		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	老化”とは加齢に伴って生体機能、例えば筋力、神経伝導速度、肺活量、病気に対する抵抗力などが低下することであり、“加齢”と“老化”とは異なる。加齢と老化の対比をもとに、運動に密接に関わる筋・骨格系、神経系、呼吸・循環系に関する加齢・老化を知り、生物学的老化と加齢を学ぶとともに、高齢者がその背景として抱えている身体的・心理的な問題を整理し、いかにして対応していくのか考えていく。		
授業到達目標 / Course goals	筋力低下など機能障害が生じる機序を説明できるようになる。特にこの授業では医療従事者に必要な高度な知識や理論を取得できるようになる(DP-2)。さらに人体の生理・解剖に関して幅広い学問の知識を習得できるようになる(DP-1)。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	レポートのみ		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	事前学習：次回までに必要な文献を検索し、少なくとも研究に必要な情報は理解すること(1時間) 事後学習：攻守の中で実施したディスカッションで得られた情報をまとめ、指導教官から出された課題を適宜実施し、 次回の演習までに準備しておくこと(1時間)		
キーワード / Keywords	高齢者、認知症、ADL、認知機能障害		
教科書・教材・参考書 / Materials	資料および論文		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	特になし。レポート及び出席にて60%以上あること。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学ではすべての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的習癖の除去及び合理的な配慮の提供に取り組んでいる。授業に対する合理的な配慮のサポートについては担当教員又アシスト広場(障害学生支援室)にご相談ください。		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	神経系の解剖、生理を学習しておく。		
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N) / Instructor(s) with practical experience (Y / N)	Y。研究に関する論文を熟読すること		

実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	佐藤はこの分野では約20年程度実績をあげている。教官としても10年以上の授業の経験がある。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	総論、日程説明、モジュールの方針
第2回	加齢とは
第3回	加齢と老化 (理学療法の側面) (1)
第4回	加齢と老化 (理学療法の側面) (2)
第5回	加齢と老化 (看護の側面)
第6回	加齢と老化 (作業療法での側面) (1)
第7回	加齢と老化 (作業療法での側面) (2)
第8回	グループの発表のための準備 (1)
第9回	グループの発表のための準備 (2)
第10回	グループ発表 (1)
第11回	グループ発表 (2)
第12回	レポートのための準備 (1)
第13回	レポートのための準備 (2)
第14回	総括

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 4, 火 / Tue 5
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2020/11/24		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20202050678001	科目番号 / Course code	20506780
科目ナンバリングコード / Numbering code	HEMC 10511_850		
授業科目名 / Course title	人の発達と成長		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	鶴崎 俊哉 / Tsurusaki Toshiya, 森藤 香奈子 / Morifuji Kanako, 岩永 竜一郎 / Iwanaga Riyoutirou		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	鶴崎 俊哉 / Tsurusaki Toshiya		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	鶴崎 俊哉 / Tsurusaki Toshiya, 森藤 香奈子 / Morifuji Kanako, 岩永 竜一郎 / Iwanaga Riyoutirou		
科目分類 / Course Category	学部モジュール科目		
対象年次 / Intended year	1	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room			
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	1年次生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	toshiya@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	保健学科 3階		
担当教員TEL/Tel	095-819-7960 (内線: 7960)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜日から金曜日の12~13時。もしくはEメール(上記)にて質問および日程調整を受け付ける。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	人の定型発達と発達に影響を与える因子について多面的に学び、発達に障害がある場合と対比させることで発達に関する理解を深める。		
授業到達目標/Course goals	医療者として発達を援助するために必要な知識、考え方を理解し、自分の言葉で発達の多面性や多様性について説明できるようになる。(DP-1)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	グループワークへの貢献(LACSのグループWikiへの書き込みで判定)を10%, LACSへの記載(LACS の日報への書き込みで判定)を10%, 定期試験を80%とし、合計の60%以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	予習 予め次回の講義内容(上述)をキーワードとして下調べを行うこと。(4h) 復習 講義およびグループワークの内容を整理し、LACSのグループWikiおよびグループ日報への書 き込みを行うこと。(4h)		
キーワード/Keywords	定型発達 こども		
教科書・教材・参考書/Materials	特に指定しない(必要に応じて資料を配付する)		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	学内でのWifi接続手順, LACSの使用方法について習熟しておくこと。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks (URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	こどもの発達を多職種立場から解説します。 専門職としての基本的知識としてだけでなく、将来親になった時にも役立てて欲しい内容です。		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	鶴崎俊哉 / 長崎大学病医院等での理学療法経験 / 理学療法経験をもとに、理学療法の対象となる小 児発達や理学療法の考え方について指導する。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション, 運動発達: 鶴崎 運動発達に関するグループワーク
第2回	認知・対人関係・情動・行動の発達: 岩永 認知・対人関係・情動・行動の発達に関するグループワーク
第3回	母子関係・摂食の発達: 森藤 母子関係・摂食の発達に関するグループワーク
第4回	遊びの発達・集団行動の発達: ゲスト(保育園園長 柿田先生) 遊びの発達・集団行動の発達に関するグループワーク
第5回	遺伝: 森藤 遺伝に関するグループワーク
第6回	発達障害: 岩永 発達障害に関するグループワーク
第7回	運動発達の問題: 鶴崎 運動発達の問題に関するグループワーク
第8回	総括 定期試験

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 1ク ォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 1, 金 / Fri 2
開講期間 / Course duration	2020/04/01 ~ 2020/06/03		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0//
時間割コード / Time schedule code	20202050701001	科目番号 / Course code	20507010
科目ナンバリングコード / Numbering code	HEMC10041850		
授業科目名 / Course title	被ばくと健康		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	永田 明 / Nagata Akira, 上野 和美 / Ueno Kazumi, 大山 祐介		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	永田 明 / Nagata Akira		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	永田 明 / Nagata Akira, 上野 和美 / Ueno Kazumi, 大山 祐介		
科目分類 / Course Category	学部モジュール科目		
対象年次 / Intended year	1	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育G棟38 / RoomG-38		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	1, 2, 3, 4		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	nagata@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	保健学科4階		
担当教員TEL/Tel	095-819-7938		
担当教員オフィスアワー/Office hours	随時 (ただし上記のメールアドレスでアポイントを取る)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	長崎大学(学士課程)全学共通の3P(AP/CP/DP)の中で、長崎は、被爆体験をもとに世界の恒久平和を宣言した平和都市であることに触れている。また、保健学科の教育理念の中で、原爆被害県として未だその後遺障害に苦しむ多くの患者が存在し、地域医療・ケア体系の確立の視点からも、資質の高い医療専門職の育成の必要性を述べている。本科目は、保健学科で学ぶ学生として、被ばくと健康との関係について学習する。		
授業到達目標/Course goals	1.放射線の基本的な知識について理解し、被ばくと健康の関係について説明できる。(DP.1) 2.被ばくに関する歴史的な経過を説明できる。(DP.1) 3.医療・災害における被ばくに関するトピックスを理解し、健康との関係について説明できる。(DP.1)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	レポート課題40点, クールワーク40点, 授業への貢献20点		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	事前学習: 次回の講義のキーワードを提示するので、キーワードに関する内容を各自、文献、Web等で調べてくること(2H)。 事後学習: 講義資料を復習し、講義の概要をLACSの日記機能に入力し投稿すること(2H)。		
キーワード / Keywords	被ばく・健康		
教科書・教材・参考書 / Materials	講義内で随時紹介		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL)095-819-2006 (FAX)095-819-2948 (E-		

備考 (URL) /Remarks (URL)	<p>1. 講義・演習の資料、教材、動画等を自己学習以外の目的で使用する場合は、必ず、担当教員の許可を得ること。資料、教材、動画等には講義演習で使用した資料、物品等を個人用カメラで撮影したものも含む。</p> <p>2. SNSに講義や演習に関連した以下の内容を投稿した場合は、投稿に関与した学生全員について、定期試験受験資格なしとするなどの対応をとることがある。</p> <p>人の尊厳を傷つける内容、個人情報と捉えられる内容、プライバシーの侵害にあたる内容、職業意識を脅かす内容、社会的信用の損失につながる内容など</p>
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	看護師(病院)としての実務経験を活かして、被ばくと健康についての教育を行う
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	看護師(病院)としての実務経験を活かして、被ばくと健康についての教育を行う
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1回	講義ガイダンス
2回	健康とは
3回	放射線の基本的な知識
4回	被ばくの歴史
5回	医療における被ばく
6回	災害における被ばく
7回	グループワーク
8回	グループワーク